

感染症の流行・発生状況について
2023年第26週(6月26日～7月2日) 診断分

● 2023年第26週の警報・注意報

警報	注意報
なし	なし

● 2023年第26週全数報告について(南部保健所管内)

なし

● ヒトメタニューモウイルス感染症について

昨年度、南部保健所管内において、乳幼児を中心にヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症に伴う急性細気管支炎が認められており、人工呼吸器を必要とする重症例も認められました。hMPV感染症は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下、法)で規定される1～5類感染症ではないため、沖縄県における流行の実態が把握できておらず、流行状況の把握目的にて、南部保健所では法第15条第1項に基づき、昨年度7月から積極的疫学調査を実施したところ。本年度においても、南部管内8小児科定点の協力の下、ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症の流行をいち早く感知するため、引き続き積極的疫学調査を実施しています。他の感染症とあわせて、以下の一覧表で還元していますので、ご参考にしてください。

● RSウイルス感染症について

現在、本県ではRSウイルス感染症患者が増加しています。感染症発生動向調査によるRSウイルス感染症の患者報告数は、令和5年第25週(6月19～25日)に、定点当たりの報告数が4.35人(定点医療機関31カ所、報告数135人)となり、ここ数週間は増加傾向にあります。RSウイルス感染症やヒトメタニューモウイルス感染症は、新型コロナウイルス感染症同様に感染予防策として「手洗い」、「マスクの着用(咳エチケット)」が重要となります。これらの呼吸器感染症対策の周知について、ご協力いただきますようお願いいたします。

※ 定点医療機関とは、インフルエンザなど18の感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

疾病名	定点区分	23週	24週	25週	26週	26週
		6/5	6/12	6/19	6/26	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	45	38	39	24	(0.44)
咽頭結膜熱	小児科	14	7	10	1	(0.03)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	64	67	44	63	(2.03)
感染性胃腸炎	小児科	103	91	80	66	(2.13)
水痘	小児科	0	5	2	2	(0.06)
手足口病	小児科	23	22	15	7	(0.23)
伝染性紅斑	小児科	0	0	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	8	8	5	6	(0.19)
ヘルパンギーナ	小児科	14	7	14	23	(0.74)
流行性耳下腺炎	小児科	2	4	1	2	(0.06)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	8	5	11	8	(1.00)
細菌性髄膜炎	基幹	2	0	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	1	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	1	(0.14)
RSウイルス感染症	小児科	61	98	135	137	(4.42)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	994	1,552	2,132	2,613	(48.39)
ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症						

南部保健所管内報告数

23週	24週	25週	26週	26週
1	3	6	3	(0.21)
4	3	0	0	(0.00)
14	19	12	22	(2.75)
36	31	38	14	(1.75)
0	2	0	1	(0.13)
3	6	7	1	(0.13)
0	0	0	0	(0.00)
2	2	0	1	(0.13)
3	2	4	15	(1.88)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
3	0	7	5	(1.67)
0	0	1	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	0	(0.00)
0	0	0	1	(1.00)
12	25	35	41	(5.13)
0	0	0	0	(0.00)
366	571	711	849	(60.64)
8	8	14	16	(1.78)

警報
なし

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。